

人権教育推進計画

三重県立特別支援学校伊賀つばさ学園

1 現状と課題

(1) 児童生徒に係わること

本校は知肢併置校で、児童・生徒141名が学校生活のあらゆる場面で人権を意識した学習に取り組んでいる。課題として児童生徒の実態に応じて、友だち同士のコミュニケーションや場に応じた気持ちの表現ができる力を育てると共に、集団の中で自分のできることを増やし、自ら進んで行動できる力を育てる必要があると考える。また、自尊感情を育て、自他ともに思いやり、命を大切にす気持ち育てることも必要である。

そのためには、個々の発達段階に応じて具体的な行動に移せる仲間づくりを継続し、居住地校交流や学校間交流及び共同学習活動、地域の活動を通して、その輪を広げていく必要がある。

(2) 学校・教職員に係わること

教職員は人権を尊重する意識を持ち教育に対する熱意が高く、あらゆる差別を許さないという意識が強い。一方で教職員の異動が多く、年齢層や経験の幅も大きい状況がある。その中で一人ひとりの人権意識をさらに向上させるため、さまざまな人権研修活動に参加できるよう進めるとともに、課題やニーズに合った研修を企画し、人権意識をより深化させ、学校生活や教育活動に活かすことができるように展開をしていかなければならない。

また、「HRC風」*の活動については、差別を見抜き、解消への取組をすすめ反差別の仲間の輪を広げる活動として全教職員で支援していく。

(3) 家庭・地域に係わること

多くの保護者は学校の教育活動に協力的で高い関心を持っており、PTA活動や学校行事、学習参観などに積極的に参加している。また、子どもの実態に即したきめ細かな指導、地域の中で生活していく力の育成などを学校に期待されている。人権教育での視点でさらに推進するため、あらゆる機会を通して地域・保護者・関係機関と連携や交流をさらに進めていくことが引き続き課題である。

※「HRC風」：以前は「伊賀地区人権を考える高校生友の会」略して「高友」と呼んでいた。8年前から「伊賀地区ヒューマンライツクラブ風」と名称を変えて活動している。親しみを込めて「風」（なぎ）と呼んでいる。高等部生徒（4月現在2年生1名）が参加している。

2 学校教育目標

(1) めざす学校像

「一人ひとりの個に応じた教育が行き届き、家庭・地域に信頼される学校」

- 児童生徒が、明るく元気に学校生活を送ることができます。
- 児童生徒が、個々の適性に応じた進路を実現することができ、地域社会で生き生きと生活することができます。
- 教職員は、児童生徒への理解を深め、本人の希望や個々の実態を踏まえた適切で継続的な指導・支援を実践します。
- 教職員は、人権感覚や専門性を高め、児童生徒それぞれの年齢やライフステージを考慮した指導・支援を実践します。
- 教職員間のチームワークを大切にして、児童生徒の成長を実感することで達成

感や充実感が共有できる職場環境を築きます。

(2) 中長期的な重点目標

- 児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育支援体制の確立
- 特別支援学校のセンター的役割を発揮できる学校づくり
- 地域に開かれた学校づくり
- 教職員が自ら学び、生き生きと仕事ができる学校づくり

3 人権教育カリキュラム

(1) 小学部

①めざす子ども像

「将来の社会参加に必要な基本的な生活習慣を身につけることをめざす。」

②人権教育の目標（子どもにつけさせたい力）

- ア、自らすすんで「あいさつ」「返事」ができる力を育てる。
- イ、個々の実態に応じた、友だち同士のコミュニケーションの力を育てる。
- ウ、自分の気持ちを表現できる力を育てる。

③教科・部等・その他校務分掌における取組

	取組内容	つけたい力		
		ア	イ	ウ
教科等	◎教科等全般			
	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけることができるようにする。 ・あいさつや返事を自分なりの方法で表現できるようにする。 ・遊びや集団生活を通して、ルールが身につくようにする。 ・自分の思いを伝える力を育てる。 ・自己選択や自己決定ができる場面を設定し、自分の意志や思いを表現できるようにする。 ・仲間と関わる場面を多く設定し、共に活動することで仲間の存在を意識できるようにする。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	○国語、算数、自立活動			
	・主体的に活動に参加しようとする力を育てる。	○	○	○

④人権学習計画

	学習内容	つけたい力		
		ア	イ	ウ
一学期	・校外学習			
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・つばさ祭り ・校外学習 ・居住地校交流・学校間交流及び共同学習 	○	○ ○	
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生を送る会 ・居住地校交流 	○	○ ○	○

(2) 中学部

①めざす子ども像

「基本的な生活習慣を身につけ、仲間を意識する力を高め、将来の社会参加をめざす。」

② 人権教育の目標（子どもにつけたい力）

ア、挨拶や返事、感謝の気持ちをすすんで表すことのできる力を育てる。

イ、集団の中で、自分でできることを増やし、貢献できる力を育てる。

ウ、仲間の存在を意識し、お互いに協力する気持ちを育てる。

③ 教科・部等・その他校務分掌における取組

	取組内容	つけたい力		
		ア	イ	ウ
教科等	◎教科等全般			
	・ 日常に必要な基本的な生活習慣や規則正しい生活リズムが身につくようにする。	○	○	○
	・ 日常生活をより豊かにするために、生活経験を重ねる。	○	○	○
	・ 挨拶や返事、感謝の気持ちをすすんで表すことができるようにする。	○		○
	・ 集団生活に必要な態度、ルールやマナーが身につくようにする。	○		○
	・ 自分の意志や思いを伝えることができるようにする。	○	○	○
	・ さまざまな活動を通して、仲間の存在を意識し、お互いに協力する心を育てる。	○		○
	・ 自らの課題を主体的に解決しようとする態度が身につくようにする。	○	○	○
	・ 見通しを持って積極的に活動しようとする力を育てる。	○	○	○
	○課題学習			
	・ 基礎学力を向上させ、日常生活に必要なスキルや態度を育てる。	○	○	
	○自立活動			
	・ さまざまな場面で円滑なコミュニケーションができるような力を育てる。	○	○	○
○作業学習				
・ 自分の力で作業をやり遂げ、周囲の役に立つことへの喜びが感じられるようにする。	○	○	○	
○特別活動				
・ 多くの仲間とのかかわりを通して社会性を身につけられるようにする。	○	○	○	

④人権学習計画

	学習内容	つきたい力		
		ア	イ	ウ
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・学部集会 ・校外学習 	○ ○		○ ○
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・学部集会 ・居住地校交流及び共同学習 ・校外学習 ・宿泊学習 ・修学旅行 ・つばさ祭り 	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・学部集会 ・居住地校交流 ・卒業を祝う会 	○ ○ ○		○ ○ ○

(3) 高等部

①めざす子ども像

「個々の実態に応じて、コミュニケーション能力を高め、将来の社会参加に向けて実践する力を身につける。」

②人権教育目標（子どもにつけさせたい力）

ア、場面に応じた挨拶や返事、感謝の気持ちなどを積極的に表現する力を育てる。

イ、自分の思いや気持ちを適切に表現できる力を育てる。

ウ、状況に応じて仲間と協力し、必要な時には助け合う態度を育てる。

エ、相手の気持ちや立場を尊重し、自ら考えて行動できる力を育てる。

③教科・部等・その他校務分掌における取組

	取組内容	つきたい力			
		ア	イ	ウ	エ
教科等	<p>◎教科等全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を見直し、社会に適応できるための規則正しい生活リズムを身につけられるようにする。 ・場面に応じて適切な言葉遣いで、挨拶や返事、感謝する気持ちをすすんで表現できる力を育てる。 ・社会生活に必要なルールやマナーを身につけ、協調性や自律性を育てる。 ・自分の決定したことに責任を持つ態度を育てる。 ・自分の意志や思いを、適切な言葉や態度で伝える力を育てる。 ・相手の立場に立って行動し、相手を尊重する態度を育てる。 ・自分の願いや目標を実現させるために、粘り強く努力しようとする心を育てる。 <p>○課題学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的自立に必要な知識や理解を深め、今後の生活に生かす力を育てる。 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○自立活動 ・コミュニケーション力を向上させ、よりよい人間関係を構築できるような力を育てる。	○	○	○	○
○作業 ・自分の役割を理解し、仲間と協力する態度を育てる。 ・製品作りや販売、接客を通して、働く喜びを感じられるようにする。			○	○
○特別活動 ・集団での活動を通して社会性を身につける。	○	○		

④人権学習計画

	学習内容	つきたい力			
		ア	イ	ウ	エ
一学期	・学部集会 ・つばさのつどい ・校外学習 ・学校間交流及び共同学習	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
二学期	・学部集会 ・つばさのつどい ・校外学習 ・宿泊学習 ・学校間交流及び共同学習 ・修学旅行 ・つばさ祭り	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
三学期	・学部集会 ・つばさのつどい ・校外学習 ・学校間交流及び共同学習 ・卒業生を送る会	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

⑤ 生徒の自主的活動

○校内人権サークル 「つばさのつどい」

(目的)

- ・生徒同士のつながりを深めながら、校内での居場所づくりを行う。
- ・仲間とさまざまな活動を通して、お互いのことを理解する。
- ・経験や視野を広げ、HRC 風への参加、活動につなげていく。

(活動内容)

- ・高等部の生徒を中心に毎金曜日（13:05～13:55）の自主的活動。自由参加。
- ・スピーチ(トーク)、ゲーム、資料を使っての人権学習、新聞づくり、人権劇など。

○HRC(ヒューマンライツクラブ)風

(目的)

- ・さまざまな活動を通して伊賀地区の県立学校や地域との連携を図り、相互理解を深めるとともに、生徒の経験および視野を広げ、社会性を培い、人間関係を豊かにする。
- ・伊賀地区に在住する高校生が集い、差別を見抜き、解消への取組を進めるため、反差別の仲間の輪を広げる。
- ・自分自身にできる行動を仲間とともに考え、差別解消への実践力を身につける。

(活動内容)

- ・高等部の生徒(希望者)が参加。木曜日の16:30~18:30 伊賀地区の県立学校を会場とし、主に部落差別、障がい者の人権、外国人の人権やいじめ問題など自分たちの身の回りにある問題について話し合う。
- ・定例の活動以外に、伊賀地区人権フェスティバルや地区別人権学習活動交流会、フィールドワークなどにも参加する。

(4) 校務分掌における取組

○進路指導部

- ・キャリア教育プログラムに沿った進路指導計画をもとに入学後からの継続的な進路指導を推進。

○研修部

- ・「地域とかわり自分の『存在価値』を高める学びのあり方について」に沿った職員研修の計画、実施。
- ・児童生徒及び保護者のニーズに応えた交流及び共同学習の実施。

○健康推進部

「保健指導」「食に関する指導」「衛生指導」により、健康や感染症予防に対する意識の変容を目指す。

○総務部

- ・地域と学校、保護者との連携を深める。

○生徒指導部

- ・仲間づくり、あいさつ運動、いじめ防止強化月間の運動(ピンクシャツ運動)

4 教職員研修

(1) 基本的な考え方

「差別の現実に深く学ぶとともに、自己を振り返り人権意識の向上につながる研修」

- ① 学校外部との連携を強化しつつ、現状認識を深めたり、当事者の声に学んだりする研修を進める。(出合いを重視した小グループの話し合い活動を進める。)
- ② フィールドワーク等の研修を企画し、すべての教職員が学習できる体制をつくる

(2) 教職員研修計画

- 校内研修 ・全体または小グループや学部単位による研修(年2~3回)
 - ・HRC風への参加
 - ・「人権・同和教育推進だより」の発行(随時)

- ・講演研修会の実施

- 校外研修
 - ・フィールドワーク（伊賀地区）
 - ・三重県人権・同和教育研究大会への参加
 - ・各種研修会、学習会への参加 など

5 推進体制

(1) 校内体制

① 人権・同和教育推進委員会（定例・・・年7回）

『構成員』校長、教頭、研修部交流及び共同学習係代表、進路指導部代表、教育支援部代表、養護教諭、生徒指導部代表、人権・同和教育推進部（各学部代表）

『目的』

- 人権教育を推進するための体制づくりを図り、校内での課題をあきらかにする。
- あらゆる教育活動が人権の学びの場となるよう情報共有、連携を図り、取組をすすめる。

② 人権教育推進協議会（年2回）

『構成員』三重県教育委員会、名張市地域環境部人権・男女共同参画推進室、名張市教育委員会、伊賀市教育委員会、社会福祉法人名張育成会、美旗まちづくり協議会、名張市立美旗小学校、名張市立北中学校、本校PTA代表、校長、教頭、人権・同和教育推進部

『目的』

- 本校の人権教育の取組を関係機関に発信する。
- 本校の現状と課題を明らかにする。
- 本校の人権教育に対する情報共有、意見交換をすすめ、取組を充実する。

(2) 対外的な会議等

- ・特別支援学校人権教育連絡協議会
- ・伊賀地区高等学校等人権・同和教育推進委員会連絡協議会
- ・伊賀管内中学校区人権教育推進協議会（4中学校区）
- ・名張市、伊賀市人権・同和教育推進協議会

(3) 学校間・校種間連携、保護者・地域との連携等

① 学校間交流(R2年度)

- ・小学部・・・名張市立美旗小学校
- ・高等部・・・伊賀白鳳高校、名張青峰高校

② 居住地校交流(R2年度)

- ・伊賀市

柘植小学校、友生小学校、壬生野小学校、久米小学校、上野東小学校、上野西小学校、上野北小学校、柘植中学校、緑ヶ丘中学校、阿山中学校、（小学校7校・中学校3校）

・名張市

梅が丘小学校、名張小学校、桔梗が丘小学校、桔梗が丘東小学校、百合が丘小学校、つつじが丘小学校、薦原小学校、すずらん台小学校、名張中学校、北中学校、赤目中学校 (小学校8校・中学校3校)

③ 特別支援学級交流

・名張市もみじのつどい

④ 「伊賀地区ヒューマンライツクラブ（HRC） 風」 への参加

⑤ 地域の人々との交流

- ・小学部・ ・名張市障がい者アグリ雇用推進協議会の農業ジョブトレーナーとの農業体験（稲刈り、おにぎり集会、さつまいもの苗植え、収穫）
作業所との交流（コスモス種まき）
- ・中学部・ ・名張市障がい者アグリ雇用推進協議会の農業ジョブトレーナーとの農業体験（収穫体験学習、農作業体験実習）
園芸班、木工班（北中学校、老人ホーム、郵便局、美旗市民センターへプランターとプランターカバー作成）
- ・高等部・ ・作業学習（作品の展示や販売）
窯業班（伊賀焼体験）
サービス班（近隣公共施設清掃）
名張市障がい者アグリ雇用推進協議会と作業製品販売、野菜販売体験

6 その他

○学校全体の活動

・学校祭・・・・・・・・・・伊賀地区県立学校よりボランティアが参加交流

○PTA関係

- ・おもいっきりしゃべろうかい・・保護者同士のつながり。保護者との話し合い
- ・わいわいサークル・・・・・・・・保護者同士のつながり
- ・PTA広報誌等での活動報告・発信
- ・同窓会・・・・・・・・・・ホームページを使っでの各行事開催の案内